

無人点呼、セルフ点呼が日常に。

# 2023年から 乗務後自動点呼が はじまっちゃったよ！

朝はIT点呼、日中はグループ企業遠隔点呼、そして深夜はロボットで自動点呼。  
あなたの会社はそんな点呼形態を許容しますか？ しませんか？

12月7日締切パブリックコメント「乗務後自動点呼要項」を読み解く

本制度の真の意図は、「運行管理一元化・高度化」でしょう。  
運行管理者が扱うすべての情報のデジタル化なしには、遠隔点呼・自動点呼は成立しません。  
バスは車庫、営業所統廃合時代、トラックはM&A時代、  
データの一元化なしに、営業所運営の迅速な決断は出来ないと思います。  
そして、もうひとつの疑問。  
点呼をロボットに「代行」して得られる時間を、運行管理者は何に使うべきだろうか？

残業  
チェック！

フェード減少  
トレーニング  
やらなきゃ！



## 乗務後自動点呼機器の認定制度

- ・自動点呼って何？ 用語の定義
- ・自動点呼機器メーカーの義務
- ・自動点呼機器認定一覧表イメージ
- ・過労運転防止器機器と似ている点、似ていない点
- ・乗務後自動点呼要項、気になる「その他要件」



## 事業者が自動点呼をはじめするには

- ・乗務後自動点呼機器の選び方
- ・ロボット点呼を対面点呼とみなせる意味
- ・11の遵守事項、どれがタイヘン？
- ・遠隔点呼 VS ロボット点呼 どちらがハードル高い？
- ・ロボット点呼申請書の書き方



## セルフ点呼解禁の真の意味、可能性とは？

- ・肝心の乗務前自動点呼は、どうなるのか？
- ・ロボット点呼があぶりだす、事業者の不都合な真実
- ・プロの運行管理者 VS ロボット どちらの点呼が安全か？
- ・点呼未実施 VS ロボット点呼 事業者の本音はどちら？
- ・運行管理者 3.0、セルフ点呼で浮いた時間は 何に使われるべきか？



SPEAKER

東海電子株式会社 営業企画部 部長

中山 春美

4 / 水  
12  
13:30-14:40

### ▶ 開催方法

ZOOMによるオンライン形式 (30分前よりログイン待機していただけます)

### ▶ 申込方法

下記URLまたはQRコードより登録をお願いいたします。  
[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_yldQ4s\\_NSVKGqS50b8HzJg](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_yldQ4s_NSVKGqS50b8HzJg)

